

企画展

とき

時を知りたい

時をはかる・表現する



ノクターナル



こよみ巻き取り機



ザルトリウス子午儀
(明石市立天文科学館蔵)



天測暦



セシウム原子時計
(明石市立天文科学館蔵)

2026年 5月9日 (土)
~ 6月14日 (日)

会場：大阪市立科学館

展示場1階「みんなのサイエンス・ラボ」

入場料：展示場観覧料で観覧できます

(大人 400 円、学生 (高校・大学) 300 円、
中学生以下無料)

協力：明石市立天文科学館



大阪市立科学館
OSAKA SCIENCE MUSEUM

私たちの暮らしに欠かせない「時計」。人は、どのようにして時を知り、刻んできたのでしょうか。本展では時をはかる方法の変化、そして時を表現する時計の仕組みについて、資料とともにご紹介します。本展は、子午線のまち兵庫県明石市の明石市立天文科学館とのコラボレーションにより実施し、同館が所蔵する時にまつわる資料も展示します。

時を知る

時の流れを刻むことは、私たちの生活リズムを整えるために大切なものです。時の流れの単位には、どのようなものがあるのか、そしてどのようにして決められているのかを解説します。



こよみ巻き取り機

時を表現する・時を保つ

時計は、時を刻み、その流れを知らせる道具として、古くから使われ続けています。人々が古くから現在まで時を保ち、表現してきた歴史を、こよみや時計などの資料と共に振り返ります。



セシウム原子時計
(明石市立天文科学館蔵)

時の流れを表現する

人々は時を知るための重要な一歩として、天体の位置や動きを観察してきました。時を知り、「今」を決める方法や私たちの生活と時の関係などについて、資料と共に見ていきます。



ザルトリウス子午儀
(明石市立天文科学館蔵)

子午線の町・明石

兵庫県明石市は、日本の標準時を決める東経 135 度の子午線が通るまちとして知られています。その子午線の真上に



明石市立天文科学館外観 (提供：明石市立天文科学館)

に建つ明石市立天文科学館は、「時のまち明石」を象徴する博物館です。そんな明石市立天文科学館の魅力や関連資料をご紹介します。



大阪市立科学館
OSAKA SCIENCE MUSEUM

〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-1 ☎06-6444-5656 <https://www.sci-museum.jp/>

開館時間 **9:30~17:00** 展示場観覧券の発券・入場は16:30まで
プラネタリウム最終投影は16:00から

休館日 **月曜日** (5/4は開館) **6/1(月)~6/3(水)**

観覧料金	大人	学生(高校・大学)*	中学生以下
展示場<1日有効>	400円(320円)	300円(240円)	無料 ^①
プラネタリウム<1回につき>	600円(480円)	450円(360円)	300円(240円) ^②

()内は30名以上の団体割引料金 *学生証の提示が必要です ^①無料券をお受け取りください ^②3歳以上中学生以下

*大阪市内在住の65歳以上の方(本人のみ)、障がい者手帳等をお持ちの方(介護者1名含む)は無料で見学できます(要証明書提示)。プラネタリウムの無料観覧は1日1回のみです。*プラネタリウム投影中、静かに観覧していただけない場合は、プラネタリウムホールから退出していただきます。観覧券の返金・交換はできませんのでご了承ください。
※スケジュール等を変更する場合があります。最新情報は科学館公式ホームページまたはお電話でご確認ください。

Web 観覧券 プラネタリウム 開演1時間前まで
ご購入いただけます!

ご来館当日は、チケットカウンターの列にお並びいただくことなく、ご購入いただけます。詳しくは科学館公式ホームページをご覧ください。※満席になり次第、販売を終了します。



ミュージアム
ショップ
9:30~17:00



- Osaka Metro 四つ橋線「肥後橋駅」3号出口から西へ約500m
- 京阪電車 中之島線「渡辺橋駅」2号出口から南西へ約400m
- 阪神・JR大阪環状線「福島駅」JR東西線「新福島駅」から南へ約1km